

3歳

子供の育ちの姿

- 興味のある話を聞いたり、経験の中で発見した喜びや驚きを言葉で表したりする。
- 日常生活に必要な会話がほぼできるようになる。
- 絵本と自分の生活とを重ね合わせたり、友達と登場人物になったりして、遊ぶことを楽しむ。

環境構成や援助のポイント

- 子供の話をよく聞き、聞いてもらう嬉しさを積み上げていく。
- 子供一人一人の感じ方や表現を大切に、保育者も共に楽しむ。
- 言葉遊びなどを取り入れ、語彙を増やす。
- 話の要点を押さえ、筋道を立てて簡潔に、分かりやすい話をするように心掛ける。
- みんなで一緒に絵本や物語を聞き、友達と共感し合う楽しさを味わえるようにする。
- 登場人物になりきることで、自分の未知の世界に出会ったり、想像上の世界に思いを巡らせたりすることを楽しめるようにする。

家庭に伝えるポイント

- 家族で挨拶をしたり、会話を楽しんだりする。
- ○○しながら話すのは避け、子供が聞く体勢を作ってから分かるように簡潔に話す。
- 身近な大人が、子供の感動した体験に、表情豊かに共感する。
- 忙しいときでも時間を見つけて読み聞かせをするように心掛ける。  
(ゆったりとした雰囲気の中で絵本を楽しむことの効果を知らせる。)



4歳

子供の育ちの姿

- 友達に思いを伝えたり気持ちを聞いたりして遊ぶ。
- 自分の思いを人前で話せるようになる。
- 身近な人との対話から、挨拶や言葉を交わす心地よさや大切さ分かる。
- 物語の世界を楽しみ、想像の世界に思いを巡らせいろいろな感情に気付く。

環境構成や援助のポイント

- 子供の思いを汲み取りながら必要に応じて言葉を補い、自分の思いが伝わった喜びや相手の気持ちが分かった喜びに共感する。
- 友達の困ったことや嬉しいことなどの気持ちに共感できるよう学級の雰囲気作りをする。
- 日々の生活の中で、心をこめて挨拶をしたり、子供との会話を十分に楽しんだりすることを通して、挨拶や言葉を交わす心地よさが味わえるようにする。
- 子供の興味や関心を広げるよう、様々なジャンルの絵本や物語に出会わせる。

家庭に伝えるポイント

- 相手に伝わるきれいな言葉づかいや心をこめて話す手本を見せる。(思いが伝わる挨拶や言葉掛けを家庭の中で大切にします。)
- 子供との会話を十分に楽しむ。



5歳

子供の育ちの姿

- 人の話を注意して聞いたり、思いや考えを言葉で表現したりし、伝わり合う喜びを感じる。
- 生活の中で必要な言葉や挨拶が分かり、使う。
- 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。

環境構成や援助のポイント

- 聞く体験を積み上げ、相手の伝えようとしている内容に注意を向けられるようにする。
- 自分の言葉で表現しようとする意欲を大切に、相手に分かるような言葉で伝えられるよう援助する。
- 言葉を通して友達と考えを伝え合う経験を大切に、友達同士の自立的な話し合いの状況を作るようにする。
- 状況に応じた挨拶や話の仕方等を、保育者がモデルとなって示す。
- 落ち着いた雰囲気を作り、素話や少し長い物語にもじっくり耳を傾けることができるようにする。

家庭に伝えるポイント

- 思いや考えを整理し、言葉で表すことで思考力の芽生えが育まれることを伝える。
- 友達と遊ぶ場を十分につくり、思いを伝える喜びを感じられるようにする。
- 言葉は伝達するだけのものではなく、言葉に託された思いを伝えるものであることを知らせる。
- 文字が読めるようになって、読み聞かせを続けることは大切であることを伝える。
- 絵本の読み聞かせが、小学校以降の読書の基礎となることを伝える。



6歳

子供の育ちの姿

- 友達と互いの思いや考えを伝え、受け止めたり、認め合ったりしながら一緒に活動しようとする。
- 自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて言葉を選んで伝えようとする。

指導のポイント

- 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人と伝え合う活動を行う。
- 相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりできるようにする。
- 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けられるようにする。
- 互いに話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなげられるようにする。

家庭に伝えるポイント

- 言葉による交流だけでなく、表情やしぐさ、態度といった言葉によらない部分も大切にしながら関わることの良さや楽しさを味わわせる。
- 日常生活の中で対象に十分関わり、それぞれの子供が自分の感じ方や考え方を表現できるようにする。

7歳

小学校入学後

### Ⅲ 身近なものや出来事と関わる力

#### 7 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

要領・指針のねらい・内容との関連	乳児 1歳以上 3歳未満児 3歳以上児	身近なものに関わり感性が育つ②-①②③④ 環境①②-①②③④ 表現②-⑥ 環境①②-②⑧ 表現③-⑤
------------------	---------------------------	--

年齢の目安

0歳

#### 子供の育ちの姿

- ・動くものや光るものを目で追おうとする。
- ・腹ばいの姿勢が取れるようになり、手を伸ばして物をつかもうとしたり、なめたりする。

#### 環境構成や援助のポイント

- ・泣いて不快や欲求を表しているときには、それを理解しようと努め、愛情をもって対応する。
- ・保育者による語り掛けや歌い掛けにより、子供が発した声や喃語等へ、気持ちのこもった言葉で応答する。
- ・一人一人の発達や個性に合わせて、興味が広がるような環境を整える。
- ・子供が興味をもったことに存分に関わられるよう、見守ったり一緒に遊んだりして共感する。
- ・身近な物に興味を持ってかかわり、十分に遊ぶ中で物への愛着や親しみを育てる。

#### 家庭に伝えるポイント

- ・子供が十分遊ぶことができるよう清潔で安全な環境にする。
- ・どんな遊びや物に興味をもっているか伝える。
- ・子供の育ちの姿を家庭と共有し、共に喜ぶ。
- ・子供が興味をもったものやことを受け止め、一緒に共有しながら、子供の思いを言葉にして伝えていく。

1歳

#### 子供の育ちの姿

- ・身の回りの人の動きや表情を模倣したりする。
- ・自分の興味のあるものを見たり、自分から関わろうとしたりする。

#### 環境構成や援助のポイント

- ・同じものを持ち、同じ動きをする楽しさを十分に味わえる環境を整えるとともに、温かく見守る。
- ・子供の発見や驚き、面白さに共感し、じっくり関わったり見守ったりする。

#### 家庭に伝えるポイント

- ・この時期の探索意欲は人と関わる力や体の諸感覚を育てていることを伝える。

2歳

#### 子供の育ちの姿

- ・新しいものやことに興味津々で関わり、試したり、確かめたりする。

#### 環境構成や援助のポイント

- ・子供が、様々な性質の素材や新鮮な体験に出会い、自分の思いで試したり、確かめたりする場や物を保証する。

#### 家庭に伝えるポイント

- ・子供の「やりたい」という気持ちを大切に、温かく見守ったり必要な援助をしたりして「自分でやった」という満足感につなげる。

3歳

子供の育ちの姿

- 楽しいと感じたことに繰り返し取り組む。
- 「なぜ?」「どうして?」と感じたことに繰り返し取り組む。疑問に思ったことを質問する。
- 周りの刺激を受け、試してみようとする。

環境構成や援助のポイント

- 繰り返ししたりじっくり取り組んだりできる場や時間を保障する。
- 子供の疑問、不思議に思う気持ちを温かく受け止め、共に考え、好奇心を満たすようにする。
- 保育者が積極的に環境に関わり、興味や関心をもてるようにする。
- 保育者や友達から励まされたり認められたりすることで、自信をもたせるとともに、ほかの子への刺激にする。

家庭に伝えるポイント

- 子供の思いに沿って、一緒に試したり、応援したりし、やる気を支える。
- 子供の疑問に共感し、丁寧に答える。

子供の育ちの姿

- 初めてのことや苦手なことも、励まされるとやってみようとする。
- 失敗しても繰り返し取り組み、達成感や意欲をもつ。

環境構成や援助のポイント

- 子供一人一人の興味や発達に配慮する。
- つまずいている子には励まし、成功するまで丁寧に支える。
- 友達が工夫していることに気付かせたり、保育者が工夫の仕方を示したりして、関わり方や考えを深める。
- 友達と試したり考えたりして創り出す体験を通して、喜びや満足感を味わわせる。
- 試行錯誤する中で気付いた物の性質や特性を利用し、工夫する姿を認めたり他の子への刺激にしたりする。

家庭に伝えるポイント

- 子供がつまずいて投げ出しそうになった時には、あきらめずにやり遂げる体験を積み重ねていけるよう励ます。
- 子供は、友達と一緒に遊ぶことにより、一層考えたり工夫したりして遊ぶようになることを伝え、なるべくたくさん子供同士で遊ぶ機会を作る。



子供の育ちの姿

- 考えたり試したりしてじっくりと遊ぶ。

環境構成や援助のポイント

- 自分たちで遊びを進めたり、問題を解決したりする姿を見守る。
- 新しいことに気付いたり自分とは違う考えを受け入れたりできるように、仲介や方向付けをする。

家庭に伝えるポイント

- 子供が自分の考えとは違う考えもあるということに気付くことが大切であることを伝える。

子供の育ちの姿

- 新しい環境や教科等の学習に興味や関心をもって主体的に関わる。
- 探究心をもって考えたり試したりするなど、主体的に問題を解決しようとする。

指導のポイント

- 子供が自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、たとえるなどの学習活動により、分析的に考えられるようにする。さらに、試す、見通す、工夫するなどの学習活動により、創造的に考えられるようにする。
- 自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができるようにする。

家庭に伝えるポイント

- 自分自身と対象との結びつきに意識を向けさせ、自分と対象との関わりが具体的に見えるようにする。

### III 身近なものや出来事と関わる力

#### 8 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをもちかもちか関わるようになる。


#### ⑬ 命の大切さ

要領・指針のねらい・内容との関連	乳児 1歳以上 3歳未満児 3歳以上児	身近なものに関わり感性が育つ①②-② 環境①③-①③⑤ 環境①②-①③④⑤
------------------	---------------------------	---

年齢の目安  
0歳  
1歳  
2歳  
3歳

<b>子供の育ちの姿</b>	<b>環境構成や援助のポイント</b>	<b>家庭に伝えるポイント</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外に連れて行ってもらうことを喜ぶ。</li> <li>・周りの大人が動植物に接したり、大切にしたりする姿に興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外に出掛ける機会を作り、自然の変化や季節の移り変わりを五感を通して感じたり、身近な動植物に興味をもてるようにしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○散歩に出掛け、自然や季節を肌で感じる。(大切にしたい五感、見る、聞く、嗅ぐ、触る、味わう)</li> <li>・暑さ寒さを感じさせ、季節に合った遊びを存分に楽しませる。(日光浴、外気浴、自然への興味関心など)</li> </ul>
		
<p>*「家庭に伝えるポイント」の○印の内容は、「はますくファイル・ノート」“家庭で大切にしたい子育てのポイント”の命の大切さに記載されているもの。</p>		

<b>子供の育ちの姿</b>	<b>環境構成や援助のポイント</b>	<b>家庭に伝えるポイント</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の中にいる気持ちよさを感じる。</li> <li>・生き物や植物に興味をもつが、物として扱うことが多い。</li> <li>・身近な自然に触れようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なものに触れ、探索を楽しむ経験ができるよう散歩などで外に出たり、積極的に戸外遊びをしたりする。</li> <li>・子供が体で感じたことを言葉にして返し、共感する。</li> <li>・子供の驚きや発見、喜びに共感する。</li> <li>・身近な生き物に気づき、親しみをもつ。</li> <li>・小さな生き物にも命があり、生きていることを繰り返し伝え、関わり方を知らせる。</li> <li>・保育者が触れることで「触ってみたい」や「やってみよう」という気持ちを引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間接体験ではなく、子供とともに直接体験することを大切にしよう伝える。</li> </ul>

<b>子供の育ちの姿</b>	<b>環境構成や援助のポイント</b>	<b>家庭に伝えるポイント</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の様々な事象や変化などに興味をもつ。</li> <li>・大人が動植物の世話をしている姿を見たり、手伝ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭の自然環境を整備したり、地域の自然と触れ合う機会を作ったりして、身近な自然と関わるができるようにする。</li> <li>・四季折々の変化を体全体で感じるよう、戸外で過ごす時間を大切にする。</li> <li>・自然の美しさ、不思議さに出会った時など、保育者自らが感性豊かに言葉にして伝える。</li> <li>・自分でもやってみようという気持ちをもてるよう、保育者が率先して動植物に触れ、かわいがったり大切にしたりしている姿を見せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供の素朴な疑問や気づきに言葉で応じる。</li> <li>・子供の疑問や意欲に沿って共に見つけたり、絵本や図鑑で調べたりするなど親子で探求していく。</li> </ul>
<p>○木々や草花、土などの自然物や身近な虫や動物などに触れて遊ぶ。</p>		
		

3歳

子供の育ちの姿

- 感じたことを言葉で表現する。
- 大人や友達と一緒に動植物の世話をすることを喜ぶ。
- 自然物を取り入れて遊ぶことを楽しむ。

環境構成や援助のポイント

- 子供の気付きに共感的に答え、さらに興味や関心をもてるようにする。
- 子供の発見や驚きに共感をもって受け止め、興味や関心をもたせる。
- 保育者が自然に対する興味や関心を高め、日常生活の些細な出来事や変化を保育に取り入れる。
- 素朴な見立てを認めたり、喜びにつなげたりする。

家庭に伝えるポイント

- 子供の興味や関心、探究心を受け止め、自分なりにじっくり取り組む姿を温かく見守る。
  - 子供の驚きや発見などは常に優しく受け止め、共感する。
- 親子で草花や野菜の栽培を楽しむ。

4歳

子供の育ちの姿

- 自然の美しさや不思議さに興味や関心をもつ。
- 種や球根から植物を育てることに関心を持つ。
- 動植物の変化や生長を楽しみ飼育や栽培をする。

環境構成や援助のポイント

- 保育者も共に自然物を使って遊んだり、刺激を取り込んだりしながら、感性を育む。
- 科学的な見方や考え方の芽生えの基礎を育むために、様々な自然現象に出会ったり、飼育栽培したりする体験に丁寧に関わる。
- 栽培や収穫した野菜を調理して食べる中で、自然の恵みに感謝できるようにする。
- 飼育や栽培をする過程で、子供から世話係などの必要性が出てきたときは、役割やルールを決めたりしながら責任をもって飼育栽培することの大切さを知らせる。

家庭に伝えるポイント

- 探究心を満足させるような、絵本や図鑑、社会施設などを紹介する。
- 親子で収穫を楽しみ、感謝して食べる。



5歳

子供の育ちの姿

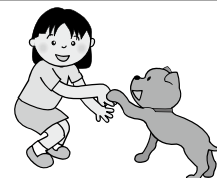
- 季節によって自然が変化することに気付く。
- よりよい飼育栽培の仕方を考え、継続性をもって行う。
- 愛情をもって世話をすることで、命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする。
- 自然の美しさ・不思議さなどに気付き、興味をもって見たり触れたりする。
- 身近な動植物に親しみ、生命を大切に作る。

環境構成や援助のポイント

- 自然(紅葉・氷・霜など)が変化したチャンスを見逃さず、自分たちの遊びや生活に取り入れる。
- 子供の興味関心に応じて、絵本や図鑑で調べたり、いろいろな教材や施設を活用したりして、身近な事象や動植物と関わりを深めることができるように援助する。
- 生き物の生死を通して命の大切さを知らせたり、誕生の喜びを感じ取らせたりする。
- 動植物との触れ合いや飼育栽培を通して芽生える愛情や慈しみの心を大切に育てていくようにする。

家庭に伝えるポイント

- 飼育物の死に際しては、どうして死んでしまったのか考えたり、かわいそうという気持ちを家族で共有したりする。



6歳

子供の育ちの姿

- 自然の事物や現象について関心を持ち、その理解を確かなものにしていく。
- 生命あるものを大切にし、生きることの素晴らしさの自覚を深める。

指導のポイント

- 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらが育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち大切にしようとする気持ちを育てる。
- 生きることの素晴らしさを知り、生命を大切にすることができるようにする。

家庭に伝えるポイント

- 動植物の立場に立って考え、世話を頑張ったこと、優しく接することができたことを褒める。

7歳

小学校入学後

### III 身近なものや出来事と関わる力

#### 9 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたり、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

要領・指針のねらい・内容との関連	乳児 1歳以上 3歳未満児 3歳以上児	身近なものに関わり感性が育つ①-① 環境①-②③ 環境③-⑨⑩ 言葉③-⑩
------------------	---------------------------	---

年齢の目安  
0歳  
1歳  
2歳  
3歳

子供の育ちの姿	環境構成や援助のポイント	家庭に伝えるポイント
<p>0歳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりのものを自由に触って遊ぶ。</li> <li>名前を呼ばれることに心地よさを感じる。</li> <li>見慣れている物や人を見付け、指差しする。</li> </ul>	<p>環境構成や援助のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手に持ちやすい大きさや握りやすい形のおもちゃを用意する。</li> <li>笑顔であやし、はっきりと分かりやすい発音や速度に努め、優しく声を掛ける。</li> <li>子供が興味や関心をもったときを捉え、具体的な名称を繰り返し伝える。</li> </ul>	<p>家庭に伝えるポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手の動きと知的発達に関連していることを伝える。</li> <li>喃語や片言を大人が優しく受け止め、声を掛けて言葉を耳に響かせる。</li> <li>文字や物の名前は、早期に教え込むことではないことを伝える。</li> </ul>
<p>1歳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びの中で、様々な形・色・手触りのものに触れる。</li> <li>ものや人に名前があることが分かる。</li> </ul>	<p>環境構成や援助のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自ら興味をもち、関わってみようとする気持ちがもてるようおもちゃの清潔や安全（素材や大きさ）に配慮する。</li> <li>名前を丁寧に呼び、関心がもてるようにする。</li> <li>人やものの名前を知った時の驚きや喜びに共感したり、気持ちを受け止めたりする。</li> </ul>	<p>家庭に伝えるポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全や衛生面には、十分配慮する。</li> <li>人の名前を知ること、愛着をもつよい機会となることを伝える。</li> </ul>
<p>2歳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのものに触れる中で物の色、形、数、量などに興味をもち、違いがあることに気付く。</li> <li>分からないものを見つけ、「これなに？」と尋ねる。</li> </ul>	<p>環境構成や援助のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おもちゃや用具の色、形、質感の違うものを十分に準備する。</li> <li>身近な素材や自然物などを遊びに取り入れられるよう、適量を種類別に整理する。</li> <li>尋ねられたことに対しては、そのタイミングを逃さず答える。</li> </ul>	<p>家庭に伝えるポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供の興味や関心、発見を大切にしながら、日常生活の中で色や数、形などに関心がもてるように配慮したり選定したりする。</li> <li>興味や関心を示したときには、丁寧に答える。</li> </ul>
<p>3歳</p>		

#### Column 幼児が文字への関心・感覚をもつようになるためには・・・



幼児が文字への関心・感覚をもつようになるためには、園で文字を教えればいいのでしょうか。



〈ごっこ遊びの中で必要感を感じて…〉



〈遊びの中で文字に親しんで…〉

大切なのは文字の直接指導をすることではなく、文字を使うことで文字を通して意味が伝わっていく面白さや楽しさが感じられるようにすることです。子供の「表現したい」「伝えたい」という気持ちを受け止め、遊びや生活の中で、幼児自身の必要感から、文字への興味・関心を深めていきたいものですね。



〈文字への関心を深める環境の例〉



3歳

子供の育ちの姿

- 物の比較をするようになる。
- 生活用具やおもちゃなど、色や形、用途などで仕分けの力が付いてくる。
- 文字があることが分かる。
- 言葉（音）と文字が対応していることに気付く。

環境構成や援助のポイント

- 興味や関心をもったときを捉え、共感したり言葉を添えて知らせたりする。
- 生活用具やおもちゃなどの置き場所は、絵や写真などで分かりやすく表示し、自分で片付けられるようにする。
- 生活の中で身近なものの名前を、絵や標識と共に文字で表し、自然に興味や関心が向くようにする。
- 子供の意欲を受け止め、尋ねられたら、答える。音節を感じられる言葉遊びを取り入れる。（言葉探し、言葉集めなど）

家庭に伝えるポイント

- 身の回りの物やおもちゃなど、片付けの場所を分かりやすく分類する。
- 自分の持ち物には名前を書き、文字に触れたり親しんだりできる環境をつくる。
- 親子でたくさん会話を楽しむことを大切にする。

4歳

子供の育ちの姿

- 簡単な数や量に関心をもち、数えたり比べたりする。
- 色、形などに興味をもち、分けたり集めたりして遊ぶ。
- 長短、多少、大小などの意味が分かり、関心をもつ。



環境構成や援助のポイント

- 物の大きさ、量、重さ、速さ、温度など、生活や遊びの中で具体的に比べる場を通して、量的な感覚を育てていく。
- 葉や石、木の実などの自然物を利用したり、収穫物をみんなで分けたりする。
- 気付きや発見に共感し、生活や遊びの中で数量や仲間分けなどに関心がもてるよう配慮する。

家庭に伝えるポイント

- 生活の中で数える、比べる、よく見るなど実体験を大切にする。
- 日常生活の中で、子供自身の必要感に基づく体験が大切であることを伝える。



5歳

子供の育ちの姿

- 文字への興味が高まり分からないことを大人に聞く。
- カレンダーや時計に興味をもつ。
- 遊びや生活の中で、数を数えたり比較したりする。
- 遊びや生活の中に文字を取り入れようとする。

環境構成や援助のポイント

- 子供の要求や必要感に応え、代筆したり教えたりする。
- 保育者は鉛筆などの正しい持ち方、筆順を示すモデルとなる。
- 見やすいカレンダーや時計などを使ったり、保育者から働き掛けたりし、日、曜日、時刻の順序性に関心がもてるようにする。
- 得点や数で競う遊びや生活、当番活動等の中で子供が物を分けたり、一緒に物を数えたりする機会を取り入れる。
- 遊びの中で誤って表記したものを訂正することを主眼に置くのではなく、書いて嬉しい気持ちに共感する。

家庭に伝えるポイント

- 就学に向け焦って教え込む指導はせず、要求があったときに、読んだり書いたりすることを教えていく。
- トランプ、カードゲームや縄跳びなど、数に触れ親しめる遊びを親子で一緒に行う。
- 文字に対する興味や関心がもてるよう、正月遊び、しりとり、言葉探しなどを親子で一緒に遊ぶ。

6歳

子供の育ちの姿

- 数量や図形に親しみをもち、それらに対する感覚を豊かにするとともに、算数を学ぶことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとする。
- 身近なことを表す語句の量が増し、話や文章の中で使う。
- 平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使う。

指導のポイント

- 数のまとまりや数量の関係に着目し、数の数え方や計算の仕方を考えたり、その過程を表現したりして、日常生活に生かせるようにする。
- 身の回りにある様々なものの形に着目してその特徴に関心をもつとともに、具体的な操作を通して形の構成について考えることができるようにする。
- 言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができるようにする。
- いろいろな本があることを知ることもできるよう、読書に親しませる。

家庭に伝えるポイント

- 算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学べるように、日頃から数量や図形に親しむことを大切にする。
- 言葉がもつよさを感じられるようにするとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして思いや考えを伝え合える機会をもつ。

7歳

小学校入学後

### III 身近なものや出来事と関わる力

#### 10 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

要領・指針のねらい・内容との関連	乳児 1歳以上 3歳未満児 3歳以上児	身近なものに関わり感性が育つ③-⑤ 表現①②③-①②③④⑤⑥ 表現①②③-①④⑤⑥⑦⑧ 環境②-⑥
------------------	---------------------------	---

年齢の目安

0歳

##### 子供の育ちの姿

- ・周囲の物をじっと見つめる。
- ・音や声に反応し、手足や体を動かす。
- ・あやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しんだりする。
- ・意思表示がはっきりしてきて喜怒哀楽を思い切り表現するようになる。

##### 環境構成や援助のポイント

- ・視覚の発達（追視、視力）に合わせて、明るい色彩やはっきりした形のおもちゃを用意する。
- ・子供の反応を受け止め、優しい笑顔で語り掛けながら応答の心地よさにつなげる。
- ・あやし遊び等を通しての表情豊かな関わりの中で、心地よい気持ちのやり取りが楽しめるようにする。
- ・子供の細やかな感情の表出を理解し、大人が優しく短い言葉でゆったりと関わる。

##### 家庭に伝えるポイント

- ・信頼関係による情緒の安定を基盤にして、探索活動が活発になることを伝える。
- ・優しく語り掛ける母親の肉声が、最も心地よいことを知らせる。

1歳

##### 子供の育ちの姿

- ・自由に手を使い、触ってみようとする。
- ・語り掛けるような調子の短い歌を喜ぶ。
- ・玩具や身の回りの物をつまむ、たたく、引っ張るなどして手や指を使って遊ぶ。

##### 環境構成や援助のポイント

- ・感触を楽しめる素材や教材を選ぶ。（汚す、破る、壊すことも表現として受け止める。）
- ・子供たちが簡単に歌える歌を選び、保育者も一緒に歌う。
- ・子供一人一人の発達過程や興味・関心を理解し、子供に合った活動が行えるよう環境を整える。

##### 家庭に伝えるポイント

- ・優しく語り掛けたり、子守唄を歌ったりする。
- ・子供の発達過程に合わせた遊びを伝える。

2歳

##### 子供の育ちの姿

- ・好きな歌に合わせて手拍子をしたり、感じたままに体を動かしたりして楽しむ。
- ・身近な素材に触れ、その心地よさを楽しむ。
- ・なぐりがきを楽しむ。
- ・生活遊びの中で興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現する。

##### 環境構成や援助のポイント

- ・保育者も一緒に歌ったり動いたりすることを楽しみ、子供の姿を十分に認めたり気持ちに共感したりする。
- ・繰り返しつくったり、試したりできる可塑性のある素材（砂、粘土など）を用意し、子供とともに十分触れて楽しさを共感する。
- ・かきやすい画材や用具などを用意し、子供とともに十分触れて楽しさを共感する
- ・生活や遊びの中で、子供が見立てて遊ぶ様子を捉え、子供の気持ちを丁寧に受け止め、思いに沿った言葉を掛けながら、意欲を支えていくようにする。

##### 家庭に伝えるポイント

- ・表現をありのままに受け止め、認めたり楽しさに共感したりすることが大切であることを伝える。
- ・身近な素材でも十分遊べる楽しさや遊び方を紹介する。（紙、空き容器、新聞紙など）
- ・色を自分で選ぶ、自由にかくなどの経験を積み重ねることを大切にしている。
- ・子供の姿を十分に認め、共感していくことが、表現することの楽しさにつながることを伝える。

3歳



3歳

子供の育ちの姿

- かいたものやつくったものを何かに見立てて遊ぶ。
- 身の回りにある様々な音に気付く。
- 口ずさんだり思いのままに歌ったりすることを楽しむ。
- はさみやのりなどを使って簡単なものをつくる。
- いろいろな素材に触れ、その違いに気付く。

環境構成や援助のポイント

- その子なりの表現やイメージを受け止め、できた満足感や次への製作の意欲につながる言葉掛けをする。
- 声や物の音など、発見した喜びや驚きを受け止めたり共感したりする。
- CDなどの音楽教材を効果的に活用し、音楽を聴く心地よさを味わわせる。
- 用具の使い方を知らせ、安全に配慮する。
- 利用できる素材が豊かにある環境を準備する。いろいろな素材の活かし方に気付かせる。

家庭に伝えるポイント

- その子なりの表現を認め、つくる過程を大切にすること。
- 自然に音楽に親しめるよう、美しい音楽や様々な歌に触れる機会をもつ。
- 安全面に配慮しながら、子供の意欲を受け止める。
- 親子で一緒に歌ったり、つくったりする機会をもつ。

4歳

子供の育ちの姿

- 簡単な歌や曲に合わせてリズム打ちすることを楽しむ。
- 歌や音に合わせて、身振りや動きなどで表現することを楽しむ。
- 自分なりのイメージをもち、歌ったり、つくったりしたもので遊ぶ。
- 歌詞の意味が分かり、音程やリズムにも気をつけて歌おうとする。

環境構成や援助のポイント

- 自由に曲を聴けたり簡単な楽器を使ったりできる環境をととのえる。
- 感じたままに伸び伸びと表現する姿や意欲を十分認めたり、楽しさを共感したりする。
- イメージがもてるような材料用具を用意し、表現することの楽しさを味わわせる。
- 保育者がモデルとなってつくる楽しさを知らせる。
- 音程やリズムなどを知らせながら、意欲や楽しむ姿を十分認める。

家庭に伝えるポイント

- 生活の中でリズムに乗る、手拍子をする、口ずさむ、曲の好みを語ることも音楽に親しむ大切な行為であることを伝える。
- 子供の作品を大切に扱い認めることが、つくる楽しさにつながることを伝える。
- 正しい音程で歌うことや楽器を上手に演奏することが目的ではなく、表現する楽しさや意欲が大切であることを伝える。

5歳

子供の育ちの姿

- 友達と一緒に、気持ちを込めて歌ったり踊ったりする楽しさを味わう。
- 友達と気持ちを揃えて、簡単な分担奏や合奏を楽しむ。
- 友達の作品のよさを感じたり、取り入れたりしようとする。
- 色や形にこだわり、工夫する。
- 歌ったり、つくったりすることを楽しむ。

環境構成や援助のポイント

- 声や動き、気持ちを合わせることの心地よさや充実感を受け止め、必要に応じてアイデアを出したり、ともに取り組んだりする。
- 特定の技能の習得にならないよう配慮する。
- 美しい音楽、歌声、音色など本物に触れる場をもち、感動する心や感性の育ちにつなげる。
- 国歌、唱歌、わらべ歌などにも親しみが持てるようにする。
- 表現方法の幅が広がるよう、友達の作品や美しいもの、心を動かすものなどに触れる機会をもつ。
- 子供の感性を認めたり、周りに知らせたりし、自信や喜びを感じられるようにする。

家庭に伝えるポイント

- わらべ歌や唱歌などを聞き、親子で一緒に歌ったり情景を思い浮かべたりして親しみがもてるようにする。

〈わらべうた〉

- ずいずいずっころばし
- 通りゃんせ
- げんこつ山のたぬきさん

〈唱歌〉

- かたつむり
- 虫のこえ
- ゆき
- たこの歌 など

6歳

子供の育ちの姿

- 感性を働かせ表現することを楽しむ。
- 自分の気持ちや考えを一番適切に表現する方法を選ぶ。
- 臆することなく自信をもって表現することで、学校生活を意欲的に送っている。

指導のポイント

- 子供の感性を認めたり周りに知らせたりし、自信や喜びを感じられるようにする。
- 形や色などを視点に、比べたり、選んだり、作りだしたりするなどし、夢や願いをもち、楽しい生活を自らつくり出そうとする態度を養う。
- 音楽経験を生かし、生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

家庭に伝えるポイント

- 子供の多様な試みを受け止め、試みることに価値を見だし、更に活動を工夫できるように支援する。
- 遊びながら歌ったり自然な体の動きを伴って歌ったりすることなどをして、歌うことがさらに好きになるようにする。

7歳

小学校入学後

# 発達段階ごとに整理した子供の育ちの姿

## I 自分のことを自分でする力

★子供の育ちの姿は、0歳から小学1年生までの子供の発達のおおよその目安ですので、個人差に配慮することが大切です。

### 1 健康な心と体 ～基本的な生活習慣～

年齢の目安	① 睡眠	② 食事	③ 排せつ	④ 清潔	⑤ 着脱
0歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>短い睡眠を何回も繰り返す。(生後～4か月頃)</li> <li>昼間の睡眠時間が減る。(2か月～4か月頃)</li> <li>睡眠は午前と午後の2回になり、規則的になる。(5か月頃)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に授乳されることで満腹感、空腹感を体感する。</li> <li>ゆったりとした雰囲気の中で授乳されることで空腹感が満たさる。</li> <li>離乳食を食べる。</li> <li>つぶして飲み込むことを覚える。</li> <li>様々な食品に少しずつ慣れ、食べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつを替えてもらい、清潔になることの心地よさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人に、体や衣服を清潔にしてもらい、心地良く過ごす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人に着替えさせてもらう。</li> </ul>
1歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>午前睡がなくなり、午後の一定時間睡眠をとるようになる。</li> <li>夜間にまとまった睡眠をとる。</li> <li>睡眠が安定して機嫌よく目覚める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯茎で噛んで食べる。</li> <li>スプーンを使って少しずつ食べようとする。</li> <li>自分の意思で食べたり食べなかったりする。</li> <li>様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつが濡れたことを大人に知らせようになる。</li> <li>尿意、便意を感じ、排せつの前にいつもと違う様子を見せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言われると手のきれいな、汚いがわかる。</li> <li>大人と一緒に手を洗う。</li> <li>手伝ってもらいながら顔を拭いたり歯磨きをしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の衣類がわかるようになる。</li> <li>パンツや靴下を脱ごうとする。</li> <li>簡単な衣類を脱ごうとする。</li> </ul>
2歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>眠気を感じ、寝ようとする素振りを見せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>和やかな雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わう。</li> <li>スプーンなどの使い方が上達し自分で食べる意欲が高まって最後まで食べる。</li> <li>食事の挨拶を知る。</li> <li>箸に興味をもち、使ってみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おまるや補助便座に座れるようになるが、おむつやパンツをぬらすこともある。</li> <li>トイレに行き大人に手伝ってもらいながら自分でしようとする。</li> <li>排せつを事前に知らせる。</li> <li>パンツやスポンを自分で脱いで排泄する。</li> <li>排尿の後、後始末をしようとする。</li> <li>男の子は立ってする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗いを自分からするようになる。</li> <li>大人と一緒に歯を磨く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指先がうまく動かせるようになり、大人の助けを借りながら自分で着替えたりできるようになる。</li> <li>パンツやスポンを自分で脱ぐ。</li> <li>自分で靴を履く。</li> </ul>
3歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から寝たり起きたりしようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな食べ物への興味や関心が高まり、自分から食べようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小便意を知らせ、トイレでの排泄が定着する。</li> <li>トイレでの排せつに慣れ、衣類を汚さず、大人の介助なしで小便ができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で歯を磨く。</li> <li>鼻水が出ると自分でティッシュを使ってふいたり、かもうとしたりする。</li> <li>フクフクうがいとガラガラうがいの区別が分かる。</li> <li>用途に合わせてうがいをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンをはすず、かけることができ、一人で着替えられるようになる。</li> <li>大人と一緒に、脱いだ服の裏返しを直す、たたむ。</li> <li>前後左右を間違えないで服を着たり、靴を履いたりする。</li> </ul>
4歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>午睡をしなくても夜まで過ごせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と会話を楽しみながら食べる。</li> <li>箸が上手に使えるようになる。</li> <li>食事のマナーを覚え守ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大便後の始末が介助なしで出来るようになってくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で顔を洗う。</li> <li>鼻をかむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣服の着脱を手順よくし、たたんだり、揃えたりできるようになる。</li> </ul>
5歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>早寝早起きの時刻が分かり、意識して早寝早起きをしようとする。</li> <li>早寝早起きをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体にとって食べることの大切さを知る</li> <li>食べる喜びを知り、楽しく食事をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって自分で判断して排泄に行く。</li> <li>和式のトイレも使えるようになる。</li> <li>排せつの習慣を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から気付いて清潔にしようとする。</li> <li>体が汚れたら、自ら洗ったり拭いたりする。</li> <li>体を清潔にする気持ちよさが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな場や活動に合わせた衣服に着替える。</li> <li>気温に合わせて衣服の調節ができるようになる。</li> <li>自分で衣服の着脱をする。</li> </ul>
6歳 小学校入学後	<ul style="list-style-type: none"> <li>時刻を意識しながら、自分で就寝の準備をしたり、見通しをもって自分で起き、身支度をしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な食べ物を食べたり、みんなで食事をしたりすることで、食べる喜びを知ったり、マナーや食べる時間を意識したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校のトイレに慣れ、トイレの使い方や使用後のマナーについて意識しながら自分で排泄する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から進んで清潔にする。</li> <li>体を清潔にすることは、健康で安全に生活することにつながることを意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場や目的に応じて、自分で衣服を着脱したり整えたりする。</li> </ul>
7歳					

# 1 健康な心と体

年齢の目安

## ⑥ 外遊び・体作り

## ⑦ 安全

## ⑧ 物の扱い

0歳

- ・寝返り、はいはいなどができるようになる。
- ・伝い歩きからひとり歩きができるようになる。

- ・手に触れた物を何でも口に入れたり、なめたり、落としたり、投げたりする。
- ・安心できる保育者に守られながら安全に避難する。

1歳

- ・一人歩きができるようになり、自分の意思で自由に動く。
- ・戸外に出て遊びたがる。
- ・体のバランスをとり、安定した姿勢で歩行する。
- ・足腰がしっかりして動きが早くなる。
- ・走ることができる。

- ・探索活動が活発になるが、危険に対して未熟である。

- ・順番が分かる。
- ・自分の物分かる。

2歳

- ・探索活動がより一層活発になる。

- ・高いところやでこぼこ道を歩いたり段差のあるところを飛んだりして楽しむ。
- ・安心できる保育者と一緒に避難訓練に参加し災害時の避難仕方を知る。

- ・遊んだ後の片付けをする。
- ・衣服や所持品の始末を自分でやろうとする。

- ・周りの様子が気になり、合わせて移動しようとする。
- ・今何をする時かが保育者の促しにより分かる。

3歳

- ・基本的な動きの「体のバランスをとる動き」「体を移動させる動き」ができるようになってくる。

- ・道の歩き方、信号機の見方等を大人と一緒に行動することで知る。
- ・避難訓練の意味が分かり、保育者の話を聞き安全に避難する。

- ・自分の好きなものを大切にする。
- ・自分の物、他人の物他に共同の物があることが分かる。

- ・大人に促されながら一定の時間内に身支度や食事ができる。

4歳

- ・「用具などを操作する動き」が上手になってくる。
- ・ルールや決まりのある遊びを楽しむ

- ・信号機の意味や道路の歩き方などの交通ルールが分かり、守ろうとする。
- ・合図と指示を落ち着いて聞き、避難する。

- ・遊びや生活に必要な物に気付き、準備や片付けをする。

- ・みんなと一緒に行動できることの喜びや、時間内でやり遂げたり、速やかに行動したりすることに喜びを感じる。

5歳

- ・複数の動きを連続的に行うことができるようになる。
- ・自分たちでルールを考えたり、発展させたりして楽しむ。
- ・進んで戸外に出て十分に体を動かして遊ぶ。

- ・危険な物や場所が分かる。
- ・安全な遊び方や交通ルールが分かり、気を付けて行動する。
- ・自分で安全な場所や避難の方法を見つけ、緊急時に安全に避難する。

- ・整理整頓をする。
- ・物を大切にする。

- ・行事や活動を楽しみにし、準備をしたり、自分たちで進めようとしていたりする。
- ・決められた時間内で行動する。

6歳  
小学校入学後

- ・運動遊びでは、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりする。

- ・安全に気を付けて登下校しようとする。

7歳

## II 人と関わる力

★子供の育ちの姿は、0歳から小学1年生までの子供の発達のおおよその目安ですので、個人差に配慮することが大切です。

年齢の目安	2 自立心	3 協同性	4 道徳性・規範意識の芽生え	5 社会生活との関わり	6 言葉による伝え合い
0歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのことや物に関心をもち、身近な環境に自分から関わろうとする。</li> <li>見つけた物や欲しいものを指さして知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心できる関係の下で身近な大人と遊ぶ。</li> </ul>	<p>⑨ 善悪の判断</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あやされると、安心して声や表情で応えようとする。</li> <li>身近なものや、おもちゃなどに関心を示し、舐めたり触ったりして遊ぶ。</li> <li>体の動きや表情・発声・喃語を優しく受け止めてもらい、大人とのやり取りを楽しむ。</li> </ul>	<p>⑩ 愛着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>笑う、泣くなど自分の欲求を表現する。</li> <li>人見知りが強くなる。</li> <li>声を出して周りの注意を引こうとする。</li> <li>あやしてもらおうと欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。</li> </ul>	<p>⑪言葉・挨拶 ⑫読み聞かせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音のする方を見たり、大人の声掛けを喜んだりする。</li> <li>喃語が出て、少しずついろいろな表情で感情を表現するようになる。</li> <li>絵本を読んでもらうことで読み手とのつながりを感じ安心感をもつ。</li> </ul>
1歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>何でも自分でやりたがる。</li> <li>だだをこねたり、いやいやをしだることが多くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人遊びをする。</li> <li>同年代の子供と同じ場所で遊ぶ。</li> <li>促されて相手にものを渡すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して関わることのできる大人を求める。</li> <li>他者を意識し、行動を真似たりする。</li> <li>友達と関わるようになるが、頻繁におもちゃを取り合ったり自分の思い通りにならないと泣いたり怒ったりすることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な大人に喜んで関わろうとする。</li> <li>見守られながら、一人遊びや外遊びなどを楽しむようになる。</li> <li>自分の身近な存在に気づき、親しみの気持ちを表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身振り、発声、表情などで、自分の要求を表現するようになる。</li> <li>一語～二語文で自分の思いを表したり、不思議に思ったことを尋ねたりする。</li> <li>絵本や紙芝居等に興味をもって見たり、繰り返し言葉のやりとりや模倣を楽しんだりする。</li> </ul>
2歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のやりたい遊びを楽しむ。</li> <li>自己主張が強くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の遊びに興味をもち、やってみようとする。</li> <li>自分のやりたい遊びを楽しむ。</li> <li>少しずつ友達を意識し同じ遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の反応を見て、よいことや悪いことがあることに気付く。</li> <li>「貸して」「代わって」など、次第に言葉で伝えられるようになる。</li> <li>友達と一緒に遊ぶようになるが、平行遊びが多い。</li> <li>自分の気持ちに共感してくれる友達の存在を感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りに様々な人がいることに気づき、他の子供たちとも徐々に遊ぶようになる。</li> <li>大人に仲立ちしてもらおうことで、他の子供たちと関わるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人の話に興味をもって聞いたり、困ったことや要求を身近な人に伝えようとする。</li> <li>遊びや生活に必要な言葉や挨拶が分かり、供たちと関わるようになる。</li> <li>身近な大人が読んでくれる絵本や紙芝居等を楽しみに見たり、自分から絵本を選んだりする。</li> </ul>
3歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできることが増え、身の回りのことや興味をもったことを自分でできるようになる。</li> <li>皆から認められることに喜びを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と同じ遊びをしている友達と関わって遊ぶ。</li> <li>困っている友達がいると傍に行き、声を掛けたり様子を伺ったりして気に掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のしたことが、相手の心を傷つけたということが分かる。</li> <li>簡単なルールが分かり、集団遊びを楽しむが、ルールを無視したり自己主張やけんかをしたりして、遊びが中断することが多い。</li> <li>泣いたり、困ったりしている友達のことを親身になって手助けするようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な大人に親しみをもち、自分を出せるようになる。</li> <li>小学生や地域の人など身近な人と関わってみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味のある話を聞いたり、経験の中で発見した喜びや驚きを言葉で表したりする。</li> <li>日常生活に必要な会話がほぼできるようになる。</li> <li>絵本と自分の生活とを重ね合わせたり、友達と登場人物になったりして、遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
4歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が少し難しいと思ったことにも自分から取り組もうとする。</li> <li>友達の様子に刺激され、自分もやってみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを伝えるが、友達の思いも聞くことでどうしたらよいか考えようとする。</li> <li>遊びや友達との関わりの中で、次第に共通の目的を持つようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを守ると楽しく遊べるのが分かる。</li> <li>友達の大切さを感じ、仲間意識を深めていく。</li> <li>よいことや悪いことを自分なりに考えるようになり時には、我慢するようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生き生きと生活し、伸び伸びとやりたいことに取り組むようになる。</li> <li>感情が豊かになり身近な人の気持ちを察することができるようになる。</li> <li>園外の人も進んでかかわり、親しみを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達に思いを伝えたり気持ちを聞いたりして遊ぶ。</li> <li>自分の思いを人前で話せるようになる。</li> <li>身近な人との対話から、挨拶や言葉を交わす心地よさや大切さが分かる。</li> <li>物語の世界を楽しみ、想像の世界に思いを巡らせいろいろな感情に気付く。</li> </ul>
5歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の励ましにより目標に向かってあきらめずにやり遂げようと頑張る。</li> <li>できたらうれしさや充実感から更に自分で課題を設定し、もっと難しいことにも挑戦しようとする。</li> <li>進んで身近な人や環境に関わっていく中で自分の良さや特徴を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの中で困ったことを相談したり、アイデアを出し合ったりして遊びを進めようとする。</li> <li>自分の力を発揮したり、友達のよさを認め合いながら、協力して遊ぶ楽しさや充実感を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感情や行動をコントロールする力が付き、我慢したり人に譲ったりすることができるようになる。</li> <li>勝敗のある遊びを楽しむ、友達と作戦を立てて遊べるようになる。</li> <li>友達と関わりながら様々な感情を体験し、喜びや悲しみなどを共感し合う。</li> <li>よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな人と関わりを喜ぶようになる。</li> <li>身近な事象に興味や関心をもち、家族や身近な大人から愛情を受け、安心して過ごしたり親しみをもち関わったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人の話を注意して聞いたり、思いや考えを言葉で表現したりし、伝わり合う喜びを感じる。</li> <li>生活の中で必要な言葉や挨拶が分かり、使う。</li> <li>絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。</li> </ul>
6歳 小学校入学後	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分でできることは自分でしよう積極的に取り組む。</li> <li>生活や学習での課題を自分のこととして受け止めて意欲的に取り組む。</li> <li>自分なりに考えて意見を言ったり、分からないことや難しいことは、教師や友達に聞いたりしながら粘り強く取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団生活の中で、目的に向かって自分の力を発揮しながら、友達と協力する。</li> <li>友達と様々な意見を交わす中で新しい考えを生み出しながら工夫して生活したり学び合ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちや行動を自律的に調整し、素直に伸び伸びと生活する。</li> <li>よいことや悪いこととの区別をし、うそをついたりごまかしたりしないで、良いと思うことを進んで行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の状況や気持ちを考えながらいろいろな人と関わることを楽しむ。</li> <li>関心のあることについての情報に気づいて積極的に取り入れる。</li> <li>地域への親しみや地域の中で学びの場を広げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と互いの思いや考えを伝え、受け止めたり、認め合ったりしながら一緒に活動しようとする。</li> <li>自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて言葉を選んで伝えようとする。</li> </ul>
7歳					

### III 身近なものや出来事と関わる力

★子供の育ちの姿は、0歳から小学1年生までの子供の発達のおおよその目安ですので、個人差に配慮することが大切です。

年齢の目安	7 思考力の芽生え	8 自然との関わり・生命尊重 ⑬ 命の大切さ	9 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	10 豊かな感性と表現
0歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>動くものや光のものを目で追おうとする。</li> <li>腹ばいの姿勢が取れるようになり、手を伸ばして物をつかもうとしたり、なめたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外に連れて行ってもらうことを喜ぶ。</li> <li>周りの大人が動植物に接したり、大切にしたりする姿に興味をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりのものを自由に触って遊ぶ。</li> <li>名前を呼ばれることに心地よさを感じる。</li> <li>見慣れている物や人を見つけ、指差しする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の物をじっと見る。</li> <li>音や声に反応し、手足や体を動かす。</li> <li>あやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しんだりする。</li> <li>意思表示がはっきりしてきて喜怒哀楽を思い切り表現するようになる。</li> </ul>
1歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの人の動きや表情を模倣したりする。</li> <li>自分の興味のあるものを見たり、自分から関わろうとしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の中にいる気持ち良さを感じる。</li> <li>生き物や植物に興味を持つが、物として扱うことが多い。</li> <li>身近な自然に触れようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びの中で、様々な形・色・手触りのものに触れる。</li> <li>ものや人に名前があることが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由に手を使い、触ってみようとする。</li> <li>語り掛けるような調子の短い歌を喜ぶ。</li> <li>玩具や身の回りの物をつまむ、たたく、引っ張るなどして手や指を使って遊ぶ。</li> </ul>
2歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいものやことに興味津々で関わり、試したり確かめたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の様々な事象や変化などに興味をもつ。</li> <li>大人が動植物の世話をしている姿を見たり、手伝ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのものに触れる中で物の色、形、数、量などに興味をもち、違いがあることに気付く。</li> <li>分からないものを見つけ、「これなに？」と尋ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな歌に合わせて手拍子したり、感じたままに体を動かしたりして楽しむ。</li> <li>身近な素材に触れその心地よさを楽しむ。</li> <li>なぐりがきを楽しむ。</li> <li>生活や遊びの中で、興味があることや経験したことなどを自分なりに表現する。</li> </ul>
3歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しいと感じたことに繰り返し取り組む。</li> <li>「なぜ?」「どうして?」と感じたことに繰り返し取り組む。疑問に思ったことを質問する。</li> <li>周りの刺激を受け、試してみようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感じたことを言葉で表現する。</li> <li>大人や友達と一緒に動植物の世話をすることを喜ぶ。</li> <li>自然物を取り入れて遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の比較をするようになる。</li> <li>生活用具やおもちゃなど、色や形、用途などで仕分けする力が付いてくる。</li> <li>文字があることがわかる。</li> <li>言葉(音)と文字が対応していることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かいたものやつくったものを何かに見立てて遊ぶ。</li> <li>身の回りにある様々な音に気付く。</li> <li>口ずさんだり思いのままに歌ったりすることを楽しむ。</li> <li>はさみやのりなどを使って簡単なものをつくる。</li> <li>いろいろな素材に触れ、その違いに気付く。</li> </ul>
4歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めてのことや苦手なことも励まされるとやってみようとする。</li> <li>失敗しても繰り返し取り組み、達成感や意欲をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の美しさや不思議さに興味や関心をもつ。</li> <li>種や球根から植物を育てることに関心をもつ。</li> <li>動植物の変化や生長を楽しみ飼育や栽培をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な数や量に関心をもち、数えたり比べたりする。</li> <li>色、形などに興味をもち、分けたり集めたりして遊ぶ。</li> <li>長短、多少、大小などの意味が分かり、関心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な歌や曲に合わせてリズム打ちすることを楽しむ。</li> <li>歌や音に合わせて、身振りや動きなどで表現することを楽しむ。</li> <li>自分のイメージしたものをもち、かいたり、つくったりしたもので遊ぶ。</li> <li>歌詞の意味が分かり、音程やリズムにも気をつけて歌おうとする。</li> </ul>
5歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えたり試したりしてじっくりと遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節によって自然が変化することに気付く。</li> <li>よりよい飼育栽培の仕方を考え、継続性をもって行う。</li> <li>愛情をもって世話をする中で、命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする。</li> <li>自然の美しさ・不思議さなどに気付き、興味をもって見たり触れたりする。</li> <li>身近な動植物に親しみ、生命を大切ににする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字への興味が高まり分からないことを大人に聞く。</li> <li>カレンダーや時計に興味をもつ。</li> <li>遊びや生活の中で、数を数えたり比較したりする。</li> <li>遊びや生活の中に文字を取り入れようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に、気持ちを込めて歌ったり踊ったりする楽しさを味わう。</li> <li>友達と気持ちを揃えて、簡単な分担奏や合奏を楽しむ。</li> <li>友達の作品のよさを感じたり、取り入れたいと思う。</li> <li>色や形にこだわり、工夫する。</li> <li>かいたり、つくったりすることを楽しむ。</li> </ul>
6歳 小学校入学後	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境や教科等の学習に興味や関心をもって主体的に関わる。</li> <li>探求心を持って考えたり試したりするなど、主体的に問題を解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事物や現象について関心をもち、その理解を確かなものにしていく。</li> <li>生命あるものを大切に生きたる事の素晴らしさの自覚を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形に親しみをもち、それらに対する感覚を豊かにするとともに、算数を学ぶことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとする。</li> <li>身近なことを表す語句の量が増し、話や文章の中で使う。</li> <li>平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感性を働かせ表現することを楽しむ。</li> <li>自分の気持ちや考えを一番適切に表現する方法を学ぶ。</li> <li>臆することなく自信をもって表現することで、学校生活を意欲的に送っている。</li> </ul>
7歳				

## 【参考文献】

- 幼稚園教育要領（平成 29 年 3 月）文部科学省
- 幼稚園教育要領解説（平成 30 年 3 月）文部科学省
- 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成 29 年 3 月）内閣府
- 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成 30 年 3 月）内閣府
- 保育所保育指針（平成 29 年 3 月）厚生労働省
- 保育所保育指針解説（平成 30 年 3 月）厚生労働省
- 小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月）文部科学省
- 小学校学習指導要領解説（平成 30 年 3 月）文部科学省
- 平成 29 年度新幼稚園教育要領ポイント総整理 東洋館出版社
- 幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿 東洋館出版社
- 3 法令改訂（定）の要点とこれからの保育 株式会社チャイルド本社
- 10 の姿プラス 5 ・実践解説書 ひかりのくに株式会社
- 平成 30 年度施行新要領・指針サポートブック 世界文化社
- 横浜版接続期カリキュラム「平成 29 年度版育ちと学びをつなぐ」 横浜市こども青少年局・横浜市教育委員会
- 静岡県版幼小接続モデルカリキュラム 静岡県教育委員会

## 指導資料作成に関わった委員・関係者（平成 30 年度の役職等で表記）

### <平成30年度浜松市幼児教育推進協議会委員>

静岡大学大学院教育学研究科講師	島田 桂吾	（学識経験者）
ひくまこども園園長	山田 佳敬	（認定こども園）
志都呂幼稚園園長	平松 伊早子	（私立幼稚園）
与進幼稚園園長	中村 さつき	（市立幼稚園）
すみよし保育園園長	増谷 昌子	（私立保育所）
すこやか保育園園長	小池 典光	（地域型保育事業所）
はままつ保育園代表	稲垣 さとみ	（認証保育所）
権現谷保育園園長	中山 郁子	（市立保育所）
上阿多古小学校校長	須田 佳代子	（小学校）
認定こども園保護者代表	田中 真衣子	（保護者）
幼稚園保護者代表	内山 雅彦	（保護者）
浜松市教育長	花井 和徳	
浜松市教育委員会 学校教育部長	伊熊 規行	
浜松市こども家庭部長	金原 栄行	
浜松市教育委員会 学校教育部 指導課長	森 真人	

### <平成30年度浜松市幼児教育推進協議会ワーキンググループメンバー>

市野与進こども園園長	渡邊 啓子	（認定こども園）
蛸塚幼稚園園長	加藤 寛頼	（私立幼稚園）
上島幼稚園園長	伊藤 公子	（市立幼稚園）
ルンビニープレスクール園長	石野 里江	（私立保育所）
佐鳴保育園園長	井口 薫	（地域型保育事業所）
さくら保育園園長	川井 和代	（認証保育所）
笠井保育園園長	阿部 真弓	（市立保育所）
瑞穂小学校教諭	竹内 由里子	（小学校）

### <作成協力>

浜松市教育委員会 学校教育部 指導課 指導主事	縣 倫子
尾奈幼稚園園長	早河 圭介（市立幼稚園）
寺島保育園園長	瀝美 康世（市立保育所）

### <作成助言>

浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 准教授 石野 純子





浜松市

浜松市 幼児教育の指針「幼児期に育てたい力」

## 教職員用指導資料

令和元年度7月発行（令和3年4月・5年3月一部改訂）

編集・発行 浜松市こども家庭部幼児教育・保育課

〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2

TEL：053-457-2117

Eメール：youho@city.hamamatsu.shizuoka.jp